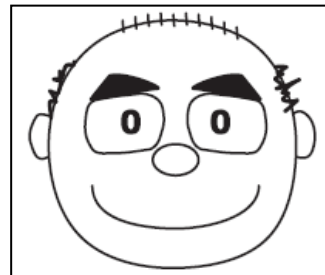




# すくすく



NO.45 平成23年10月1日発行

## ロタウイルス感染症と

ロタウイルスワクチン  
院長 金原 洋治

毎年寒い季節になるとノロウイルスやロタウイルスによるウイルス性胃腸炎が流行します。乳幼児がロタウイルス感染症にかかる場合、脱水のため点滴や入院が必要な場合もあります。この秋、待望のロタウイルスワクチンの接種が可能になりましたので、今回は、ロタウイルス感染症とワクチンの特集にしました。

### ロタウイルス感染症の特徴

ロタウイルスは便に排出され、経口的に感染しますがウイルスは軽いので空気感染もします。潜伏期は1〜2日と短く、腸管でウイルスが急速に増え水様性の下痢を引き起こします。軽い下痢の場合も多いのですが、乳児の場合、下痢の回数が多く水分の補給が間に合わないため脱水を起こしやすいようです。白っぽい「米のとぎ汁」のような下痢が頻回にでるのが特徴です。重症下痢の40%がロタウイルスによるものだと報告されて合併症としては、けいれん、脳炎・脳症が一番多く重要で

### ロタウイルス感染症の診断と検査

小児科医は特徴的な便を見ただけで診断できますので、流行期には必ずしも検査の必要はありません。便を用いた迅速検査で10〜15分くらいで結果がわかりますが、検査するか

しないかは医師の判断によります。

### 家庭での対処の仕方

ロタウイルス感染症にかかった時は、脱水の予防が最も重要で、失われた水分と塩分と糖分を補充します。最もお勧めなのは、ORS（経口補水液）で、消化管で吸収しやすい濃度に調整されています。市販品ではアクアライトORS（顆粒、ペットボトル、ゼリー）があります。塩気を強く感じますが、嘔吐や下痢を起こしている場合は塩気を感じにくく飲みやすくなります。目安は最初の4時間で約500ccを哺乳瓶やコップで与えます。10分ごとに20ccを与えます。それでも吐くときは50ccから始め徐々に増やして行きます。その後、母乳やミルク（薄めな



### 救急で受診の目安

水分がとれない場合、頻回で多量の下痢が続く場合、目がくぼんできた場合、唇や舌や口の中の粘膜が渴

いている場合、ウトウトしたり、けいれんを伴う場合は早めに受診しましょう。

### ロタウイルスワクチンについて

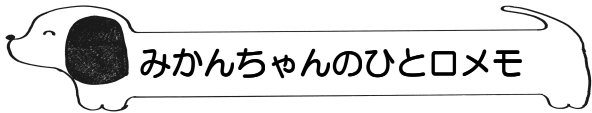
2011年現在、世界120カ国で承認発売されており、生後2ヶ月から投与を開始、最低4週間間隔で合計2回、生後6ヶ月になる前までに投与を完了します。予防効果は高く、ロタウイルスによる嘔吐下痢症を防いだり症状を軽くし、点滴や入院が必要な重症例を約90%防ぐ効果があります。副作用はほとんどありません。最初に開発されたワクチンは有効性は高かったものの腸重積症の頻度が高かったため中止になりました。新しいワクチンは生後6ヶ月までに投与すれば大丈夫だということがわかっています。

### ロタウイルスワクチン接種希望の方へ

ロタウイルスワクチンの我が国での発売は11月頃になりそうです。希望者の方に有料で接種します。生ワクチンであり1ヶ月間を空けないこと他のワクチン接種ができないことに加え、生後2ヶ月から2回接種しますので、ヒブワクチンや肺炎球菌ワクチン、DPTとの同時接種をすることが前提になります。接種料金など詳細は、11月頃

に受付までお問い合わせ下さい。





\*\*\*\*\*同時接種のおすすめ\*\*\*\*\*

今年の3月に乳児期のヒブや肺炎球菌ワクチン（ブレバナー）などの同時接種後の子どもの死亡例が報告されました。厚生労働省は、同時接種と死亡との因果関係を検討し、関係はないと結論づけ、同時接種を再開しています。

しかし、今もなお、同時接種をためらったり個別接種を選択したりする方が多いようです。

小児科医は、同時接種のほうが子どもにとって、はるかに有益だと思い、自分の子や孫にも同時接種を行っています。

**理由①**同時接種後の死亡は、乳児に一定の頻度で起こる乳幼児突然死症候群（SIDS）や、もともと持っていた病気によるものが原因であると考えられるから。（同時接種と死亡例とは関係ないと思われる。）

**理由②**髄膜炎は乳児期、しかも月例が低いほど発症しやすいので早くワクチンを進める必要があるから。（個別接種にすると接種時期が遅れるので髄膜炎発症の危険性が高まるから。）

**理由③**ロタウイルスワクチン（平成23年11月ごろより生後2ヶ月から接種可能になる経口生ワクチン）やHBワクチンの接種希望の方は、個別接種では、ワクチン接種スケジュールの調整が困難になります。その結果、接種が遅れる事になり、予防可能な病気にかかる危険性が高まるから。

\*みかんちゃんは金原家のミニチュアダックスフンドです。ときどき院長と一緒に出勤しています♪

## 院長不在のお知らせ

学会、講演や会議のため下記のとおり不在です。

11月1日（火） 午後不在 代診の先生

11月14日（月） 終日不在 代診の先生

## 年末年始のお休み

12月29日（木）～1月3日（火）

### 夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場所 下関市大学町2丁目（市大近く）

診療時間 19時～23時 電話番号 252-3789

## 編集後記

お出かけに好い季節になりました。

先日、町内の子ども達と巖流島へ行ってきました。意外に小さくて平坦だったのに驚きました。今年は山口国体もあり、県内の観光スポットが沢山紹介してあります。市内外に行ったことのない所を、家族や友達と巡ってみたいものです。  
モモ、クリさんねん

## おいしくたべよう



今回は栄養士の先生にさつまい芋の食べ方をうかがいました。

実りの秋です。ホクホク美味しいさつまい芋！離乳食にも“おすそ分け”。さつまい芋を少し大きく切って、こんぶやいりこの天然だしでしっかり煮て取り分けしましょう。

5-6ヶ月は 茶こして裏ごし（ペースト状）

7-8ヶ月は スプーンでつぶし、

9ヶ月からは 荒つぶし、又は持って食べられるなら持たせてもOK！

8ヶ月頃からはみそ味も喜びます。喉が敏感で飲み込みにくい赤ちゃんは、遅くされてもいいですよ。

梨、柿、栗、きのこ類はいろんなものを食べるようになってから進めてくださいね。

（栄養士：林 昌子）

## 栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時～16時

10月12日（水） 11月 9日（水） 12月14日（水）

10月19日（水） 11月16日（水） 12月21日（水）

10月25日（火） 11月30日（水） 12月27日（火）

お申し込みは受付までどうぞ。



## おすすめの本

『13歳までに伝えたい女の子の心と体のこと』  
～大切なお嬢さんのために～  
やまがたてるえ[著]

生理はなぜあるのでしょうか？それは「命のバトンをつなぐため」

なぜ命が大切なのか、なぜ体を大切にしたいのか、どうやって大切にするのか・・・成長していく体のこと、心のことを小学生にも読みやすいようにマンガを使って紹介してあります。大人には聞きづらくて悩んでいるお子さんや、逆に聞かれて答え方に迷うおかあさんには特におすすめです。

6年生のあゆみちゃんとハピウサちゃんと一緒に「命と性のつながり」を考えてみましょう。



発行人 かねはら小児科 金原 洋治

山口県下関市生野町2-28-20

083-252-2112

HPURL <http://members.jcom.ne.jp/28149681//>